

個人2

受 令和 5 年 11 月 21 日  
付 (午前) ・ 午後 9 時 00 分

一般質問（代表・個人） 通告書

令和 5 年 11 月 21 日

尾張旭市議会 議長 殿

氏 名  芦原 美佳子

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 12 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項  4  件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとの一問一答
<input type="radio"/>	1 回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u> 1 </u>	祖父母の子育て応援について
要 旨	<p>共働き世帯が増える中、父母の代わりに祖父母が育児を行う機会が増えて います。祖父母は子育ての大切なサポーターとして期待されていますが、祖 父母世代が子育てをしていた時代に比べ、昨今は情報が多く、子育てに関す る常識が大きく変化しています。父母との関係や育児に不安を抱くケースが ある中、本市における祖父母の子育て応援について、以下伺います。</p> <p>(1) 現状について</p> <p>祖父母の子育て応援の現状についての認識、市が行っている支援につい て伺います。</p> <p>(2) 祖父母手帳について</p> <p>以前、議会質問において祖父母手帳の作成を提案した際、「子育て支援 の推進にもなると考えるので、先進事例の取り組みなどを一度研究してみ たい」と御答弁されました。研究結果はどのようであったのでしょうか？ 改めて、祖父母手帳の作成のお考えを伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。





質問事項 No. 4	発達性読み書き障害（ディスレクシア）について
要旨	<p>発達性読み書き障害（ディスレクシア）は、学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な発達には遅れはないものの、文字の読み書きに限定した困難があります。知能や聴いて理解する力、発話で相手に自分の考えを伝えることには問題がないため、障がい者から気づかれにくく、読み書きの困難から、学業不振が現れたり、二次的な学校不適応などが生じることもあります。</p> <p>またディスレクシアは、障がい種の中で、最も出現頻度が高いともいわれ、日本の小学生の約7～8%に存在し、クラスに平均2～3人いるとの報告もあります。周りの人が理解し適切なサポートをすることで、困難さを軽減することもできるとされている、ディスレクシアへの適切なサポート体制等について、以下、伺います。</p> <p>(1) ディスレクシアの児童生徒の把握について</p> <p>市内小中学校において、ディスレクシアの疑いがある児童生徒について、どの程度把握されているのでしょうか？</p> <p>(2) 早期発見・早期支援体制について</p> <p>ア 現状について</p> <p>ディスレクシアの疑いのある児童生徒を早期発見し、早期支援を行うことは、とても重要と考えますが、現在、学校現場では、どのような取組が行われているのか伺います。</p> <p>イ T s u k u b a（つくば）モデルについて</p> <p>茨城県つくば市では、読み書き対応 T s u k u b a（つくば）モデルという発達性ディスレクシアの早期発見・早期支援体制を導入し、効果を上げています。本市での導入について見解を伺います。</p> <p>(3) 適切な支援体制について</p> <p>障がいの困難さを軽減するため、学校現場においてタブレット端末の活用やデジタル教科書を効果的に活用できるようにするなど、適切な支援体制が必要と考えますが、お考えを伺います。</p> <p>(4) 発達性ディスレクシアへの理解を広げるために</p> <p>合理的配慮への理解を他の児童生徒や保護者に周知することや、発達性ディスレクシアへの理解を促す必要があると考えます。先進的な取組をしている練馬区社会福祉協議会の「発達性読み書き障害早わかりガイド」のような理解を促すツールを活用し、発達性ディスレクシアへの理解を広げていくことについて、見解を伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。